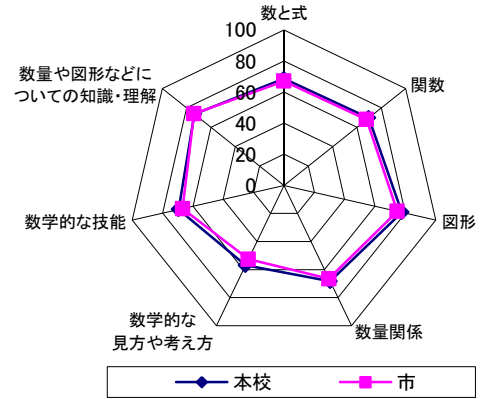


# 宇都宮市立豊郷中学校 第1学年【数学】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と式	68.6	67.1
	関数	69.6	67.9
	図形	77.7	74.7
	数量関係	68.4	66.5
観点別	数学的な見方や考え方	57.0	52.6
	数学的な技能	69.4	66.8
	数量や図形などについての知識・理解	73.5	73.9



## ★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	この領域の本校の正答率は、宇都宮市との比較では1.5ポイント上回っている。各問ごとに分析してみると多くの小問で宇都宮市の平均正答率を上回っているが、大問1の(1)である数直線上の点を読み取る基本問題の正答率だけが悪かった。目盛りを読み違えたうっかりミスであると考えられる。	計算問題については、さらに速く正確に解けるように補充問題を有効活用しながら、積極的に取り組ませたい。また、文章問題を立式することが苦手な生徒が多くみられるので、重点化して指導していきたい。さらに、大問1の(1)にみられるようなミスを減らすために、問題に取り組むときに、図や表、グラフを注意深くみる習慣を徹底させたい。
関数	この領域の本校の正答率は、宇都宮市との比較では1.7ポイント上回っている。各問ごとに分析してみるとほとんどの小問で宇都宮市の平均正答率を上回っている。しかし、反比例のグラフから比例定数を読み取る問題だけが、宇都宮市の平均を下回った。	比例・反比例とも、多くの生徒はその特徴や式の意味をよく理解できているといえる。しかし、反比例のグラフから比例定数を読み取る問題については、教科書での扱いが少なかったため定着が悪いので、グラフをかくことと、グラフから比例定数を読み取り、式に表すことをセットにして重点化して定着を図っていきたい。
図形	この領域の本校の正答率は、宇都宮市との比較では3ポイント上回っている。しかし、大問14の、与えられた三角形の拡大図を選択する問題についての正答率は、宇都宮市の平均をやや下回った。縮図を使って実際の長さを求める応用力を必要とする問題の正答率は8割を超えており、よく理解していることがわかった。	図形については、小学校6年生で習った「拡大図と縮図」からの出題であったが、拡大図に関する問題については、もう少しいねいに図形を観察することを指導する必要があると考える。この内容については、中学2年生の「相似」の内容であるので、次に学習するときに、導入段階でしっかり復習をさせたい。
数量関係	この領域の本校の正答率は、宇都宮市との比較では1.9ポイント上回っている。5問中2問で正答率が宇都宮市の平均を下回ってしまったが、残りの3問については、4ポイント以上市の平均を上回っており、場合の数については、理解度が高い生徒が多いことがわかる。	数量関係については、小学校6年生で習った「場合の数」と「資料の調べ方」の内容からの出題であった。「場合の数」については、中学校2年生の「確率」、「資料の調べ方」については、中学校1年生の「資料の整理」で学習する大切な内容であるので、今後の学習でもう一度いねいに扱いたい。